記者発表資料

平成３１年２月２１日
東北土木技術人材育成協議会

若手技術者育成のための「東北土木技術人材育成協議会」開催
～来年度のさらなる充実に向けて～

◆「東北土木技術人材育成協議会」は、主に若手技術者を育成することを目的として、官民連携のもと平成29年3月に設立されました。
◆協議会を構成する官民の団体が基礎技術講習会を実施し、2年目となる平成30年度は官民合わせて884名の受講者が参加しました。
◆3年目となる来年度は講習会のさらなる充実を図り、将来を担う若手技術者の知識と技術力の養成を行ってまいります。

・講習会は、土木やi-Constructionに関する施工・監督・検査など、幅広い知識と新たな技術に関する基礎技術の習得を目指したカリキュラムとなっています。

・今年度は、東北6県と仙台市も協議会に参画し、ICT,UAVに関する講習会を各県で開催しました。来年度からは発注者支援業務関係の業界団体2者も参画し、合計17団体で活動のさらなる充実を図る予定です。

記

○開催日時　：平成31年　2月25日(月)　13時30分～15時30分(予定)

○開催場所　：東北地方整備局 大会議室(12階)
　　宮城県仙台市青葉区本町3－3－1　仙台合同庁舎B棟

○参加団体　：国土交通省東北地方整備局
朱書:新規2団体　青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市
(一社)日本建設業連合会　東北支部、　東北建設業協会連合会、
(一社)建設コンサルタンツ協会　東北支部、　(一社)東北測量設計協会
(一社)日本建設機械施工協会　東北支部、　(一社)東北地質調査業協会
(一社)日本道路建設業協会　東北支部
(一社)東北建設マネジメント技術協会、　(一社)東北地域づくり協会

○主な議題　：今年度の実施結果、新規参加団体について、次年度の方針 など

○取　　材　：報道機関には公開で開催します　(事前登録不要)

(別紙-1　委員名簿，　別紙-2　協議会の概要)

(発表記者会)青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】　東北土木技術人材育成協議会事務局　国土交通省　東北地方整備局
・東北技術事務所　総括技術情報管理官　八木　恵里　　電話：022-365-8211（内線 301）
・企画部　技術管理課　課長補佐　片野　正章　　電話：022-225-2171（内線 3316）

別紙１

東北土木技術人材育成協議会　委員名簿

H31年2月時点

会　長	国土交通省 東北地方整備局 企画部長	西尾　崇	
副会長	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所長	稲葉　護	幹事長
委　員	青森県 県土整備部長	福士　祐治	
〃	岩手県 県土整備部長	八重樫　弘明	
〃	宮城県 土木部長	櫻井　雅之	
〃	秋田県 建設部長	小川　智弘	
〃	山形県 県土整備部長	角湯　克典	
〃	福島県 土木部長	杉　明彦	
〃	仙台市 都市整備局長	小野　浩一	
〃	(一社)日本建設業連合会 東北支部長	平田　尚久	
〃	東北建設業協会連合会 会長	千葉　嘉春	
〃	(一社)建設コンサルタンツ協会 東北支部長	菅原　稔郎	
〃	(一社)東北測量設計協会 会長	佐藤　和昭	
〃	(一社)日本建設機械施工協会 東北支部長	高橋　弘	
〃	(一社)東北地質調査業協会 理事長	髙橋　和幸	
〃	(一社)日本道路建設業協会 東北支部長	田　祐久	
〃	(一社)東北建設マネジメント技術協会　代表理事	秋葉　敬治	（新規）
〃	(一社)東北地域づくり協会　理事長	渥美　雅裕	（新規）
〃	国土交通省 東北地方整備局 企画部 技術管理課長	亀井　督悦	副幹事長
〃	国土交通省 東北地方整備局 企画部 施工企画課長	狩野　武志	（新規）

※出席者名簿ではありません

東北土木技術人材育成協議会

官民連携の 東北土木技術人材育成協議会
平成29年3月設立

設立趣旨

- ◆ 社会資本は、生活や経済活動などを行う上で重要な役割を担い、長期にわたり利用される高品質・高耐久とすることが求められる。
- ◆ 良質な社会資本の整備・維持管理のための専門分野は多岐にわたり、施工･監督･検査などには幅広い知識が必要。
- ◆ さらにi-Constructionをはじめとする新たな技術に関する多様な知識も求められる。
- ◆ 将来を担う若手技術者に対しては、早い段階で知識と技術力の養成に資する講習を行う必要がある。
- ◆ 各団体が協力・連携をすることで、より総合的な知識と技術力の教授が可能となる。

構　成　団　体

青文字：H30年度からの参加団体
赤文字：H31年度からの参加団体

●国

国土交通省　東北地方整備局

●県・政令市

青森県　岩手県　宮城県　秋田県
山形県　福島県　仙台市

●業界団体

(一社) 日本建設業連合会　東北支部
東北建設業協会連合会
(一社) 建設コンサルタンツ協会　東北支部
(一社) 東北測量設計協会
(一社) 日本建設機械施工協会　東北支部
(一社) 東北地質調査業協会
(一社) 日本道路建設業協会　東北支部

(一社) 東北建設マネジメント技術協会
(一社) 東北地域づくり協会

H29年度
6団体でスタート

⇩

H30年度
15団体に拡充

⇩

H31年度
17団体にさらに拡充

協議会の枠組みと活動

東北土木技術人材育成協議会　(17団体)

協議会長：　東北地方整備局　企画部長　／　委員：　構成団体　　青囲み:官、　赤囲み:民

東北地方整備局（東北技術事務所）＋ 東北6県政令市 ＋ 建設業界団体 ＋ 測量･コンサル業界団体 ＋ 建設機械業界団体 ＋ 発注者支援業界団体

官民で講師を分担

基礎技術講習会

土木コース：土工　アスファルト　コンクリート　構造物設計

ICT,UAV（i-Construction）　遠隔操作バックホウ（民間向け）

官民の技術者が受講

官民で運営

幹事会／事務局

カリキュラム作成，構成団体からの講師選定，講義用テキスト作成
日程調整，講習会場手配，受講者募集，修了証・CPD等交付
講師，講習会運営，アンケート結果取りまとめ，改善策の検討　　など

平成30年度　基礎技術講習会の実施結果

- 平成29年度は全国初の官民合同講習会としてスタートし、**平成30年度は回数・会場を拡大**して実施
- **土木は3回開催**に拡大 *（H29は2回）*　● **ICT,UAVは7会場(6県＋仙台市)開催**に拡大 *（H29は1会場）*
- 回数の増により、 **受講者は2.3倍の884名**に増加 *（平成29年度 391名）*

講習会			開催月日（平成30年度）	開催場所	受講者数 合計	官	民
土木	第1回	土工	7月1日 ～7月2日	東北技術事務所	124 名	66 名	58 名
		アスファルト	7月2日 ～7月3日				
		コンクリート	7月3日 ～7月4日				
		構造物設計	7月4日 ～7月5日				
	第2回	土工	9月9日 ～9月10日		119 名	87 名	32 名
		アスファルト	9月10日 ～9月11日				
		コンクリート	9月11日 ～9月12日				
		構造物設計	9月12日 ～9月13日				
	第3回	土工	11月25日 ～11月26日		97 名	69 名	28 名
		アスファルト	11月26日 ～11月27日				
		コンクリート	11月27日 ～11月28日				
		構造物設計	11月28日 ～11月29日				
ICT,UAV		青森県	10月26日	各県（7会場）	520 名	229 名	291 名
		岩手県	10月23日				
		宮城県	9月26日 ～9月27日				
		仙台市	9月27日 ～9月28日				
		秋田県	10月16日 ～10月17日				
		山形県	10月24日 ～10月25日				
		福島県	10月17日 ～10月18日				
遠隔操作バックホウ		青森県	11月15日	東北技術事務所	24 名		24 名
		岩手県	11月16日				
		宮城県	11月28日				
		秋田県	11月26日				
		山形県	11月13日				
		福島県	11月20日				
					884 名	451 名	433 名

受講者のコメント

■土木
・説明・講習は具体事例も交えており、とても分かりやすかった。
・認識が甘かった箇所の再確認が行えて良かった。

■ICT,UAV
・今後、工事でICT・UAVの施工が行われるため、大筋の流れが分かった。
・各機械のメリット・デメリット、操作性を実感することのできた。

■遠隔操作バックホウ
・カメラ位置や作業内容が変わると難易度も変わってやりがいがあった。

土木

土工

アスファルト

コンクリート

構造物設計

ICT,UAV

遠隔操作バックホウ（民間向け）

平成31年度　基礎技術講習会の方針

- 今年度同様、各講座を継続して実施。
- 自治体の人材育成拡充のため、市町村職員や県の外郭団体職員についても講習会参加を認め、募集は県を通じて行う。
- 官民の多様な受講者に対応していくため、セミナーや見学会などを開催することも今後検討していく。
- 17団体が協力し、PDCAサイクルにより講習会の充実と運営の合理化を図っていく。

↓

官民の技術者の技術力向上

↓

良質な社会資本の整備・維持管理と生産性向上